

# 評価結果概要版



令和4年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	株式会社いずみ
事業所名称	菜の花葛飾デイサービス
事業所所在地	東京都葛飾区奥戸9丁目16番2号
事業所電話番号	03-3657-1970

## 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) 「気」を元気に、五感に良い刺激を、笑顔あふれる菜の花。 2) 笑顔が利用者から職員へ、職員から利用者へと循環し、地域にも広がっていく事業所を目指している。

## 全体の評価講評

<p>特に良いと思う点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者個別の手引書を作成し、ケアの標準化に取り組んでいる</li></ul> <p>利用者一人ひとりの手引書を作成して支援している。食事や入浴、排泄などを一覧表にして利用者ごとにまとめ、具体的な且つ細かな手順をまとめている。また、それぞれ留意事項も記載し、確実な支援につなげるようにしている。利用者の状態の変化に伴って介助の方法が変わる場合は、事業所会議で話し合い、手引書も変更している。新人職員を含め、介護現場で役立つものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の様子は、毎月の「菜の花便り」や「トピックス」で家族に伝えている</li></ul> <p>利用者それぞれの家族に、「菜の花だより」や「トピックス」を毎月送っている。「菜の花便り」は全家族に行事や普段の様子を写真をふんだんに取り入れて送り、「トピックス」は本人の写真とともに様子を具体的に記載し、その人の家族に送っている。また、利用者ごとのアルバムも作成しており、家族に見てもらったり貸し出しもしている。家族とは必要に応じて連絡を取るなど、多様な方法で利用者情報の共有に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・食事時間が楽しくなるように、さまざまな工夫をして食事を提供している</li></ul> <p>食事は管理栄養士による献立で、厨房の職員が調理をしている。季節ごとにお花見弁当や七草がゆなどを提供したり、目で味わうこともできるように彩りや器にも配慮している。また、一人ひとりに「お品書き」を付けたり、食事前には口腔体操を実施して、むせ込み防止に努めている。利用者からは、月に一度アンケートで献立の希望を取り、反映できるように取り組んでいる。職員は1ヶ月に1回以上検食をおこなっており、感想を記録に残している。利用者調査では、食事は「美味しい」と全員が答えるなど、食事に対する評価が高いことがうかがえる。</p> <p>さらなる改善が望まれる点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新規入職者や経験の浅い職員に対し、知識や介護技術向上の支援が期待される</li></ul> <p>年間の研修計画が策定され、全体会議や職場会議での研修を明確にしている。職場会議では毎月テーマを変えて実施するなど、職員の学びを支援している。なお、新規の入職者や経験の浅い職員も多く、介護技術については一定レベルを保つことが求められる。一人ひとりの技術水準を確認した上で、現場でのOJTや座学で、知識や介護技術の向上を支援することが期待される。また、新人職員には指導者を付けることもよいと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者が地域と交流する機会を増やし、生活の幅を広げることが望まれる</li></ul> <p>コロナ禍であり、外部との交流がままならない状況である。施設の立地条件はよく、近くの公園や土手に散歩ができる環境にある。毎週日曜日の歩行訓練を兼ねた散歩では、出会った地域の人と挨拶を交わしている。昨年度は施設の駐車場で模擬店を出したり、スイカ割りなどで夏祭りを楽しんだ。新型コロナの感染状況を見極め、地域資源を活用した地域との交流や、外部のボランティアの受け入れなど、地域と交流する機会を増やし、利用者の生活の幅を広</p>
--

げることが望まれる。

・**災害や感染症に備えた事業継続計画は職員への周知が望まれる**

事業所にとって優先順位の高いリスクは新型コロナウイルス感染症であり、感染予防計画を作成し、さまざまな対策を講じている。また、施設の防災訓練は、デイサービスを含め年間計画のもと日中や夜間を想定して実施している。リスク関連のマニュアルとしては、消防計画や地震・風水害対策計画が策定されている。現在、事業継続計画は作成に着手している。作成後は職員への周知が望まれる。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

・**内部研修を充実させ、職員に学びの機会を提供している。**

内部研修は充実しており、多様なテーマで実施している。毎月の職場会議での研修は、感染症や褥瘡、入浴や移乗の介護技術、各種の災害訓練、レクリエーションなどを、看護師や管理者等が講師を努め実施している。職員自己評価でも、「研修が楽しい」「研修が充実している」等の意見が複数見られる。

・**医療との連携で利用者の健康管理をおこなっている**

看護師や医療機関と連携しながら利用者の健康管理をおこなっている。日々の支援では、毎朝バイタルの測定を行い、入浴の可否は看護師にしてもらっている。職員は食事量や水分量、排泄回数を記録し、健康状態を把握している。医療機関との連携も取れており、体調に変化があれば直ぐに往診してもらうことができる体制がある。

・**利用者が楽しく快適に過ごせるような支援に努めている**

利用者の主体性を尊重し、各職員が連携しながら利用者の支援にあたっている。職員と利用者の距離も近く、職員自己評価でも、「利用者に寄り添っている」「職員が利用者に情熱を持っている」「利用者と一緒に楽しんでいる」などのコメントがある。運動やレクリエーションなどで、利用者が楽しく快適に過ごせるような支援に努めている事がうかがえる。

## 利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

3/38

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	100.0%			はい: 0.0% いいえ: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% いいえ: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% いいえ: 0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% いいえ: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	100.0%			どちらともいえない: 0.0% いいえ: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	33.0%	66.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0% いいえ: 0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	33.0%	66.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0% いいえ: 0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	33.0%	33.0%	33.0%	はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0% いいえ: 0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0% いいえ: 0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	66.0%	33.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	33.0%	66.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	33.0%	66.0%		はい: 0.0% いいえ: 0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	33.0%	66.0%		はい: 0.0% どちらともいえない: 0.0% 無回答・非該当: 0.0%